

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	総合実習	単位数	2	学年・学科	3学年A科
教科書	なし		副教材	なし			

学習目標	畜産に関する実践的・体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を順序だてて習得できるようにして、経営や管理、およびその活用について理解を深め、企画力や管理能力、活用技術などを身に付けて、農業の各分野の改善に向けて取り組むことができるようになります。
学習方法	○大動物・中小動物・愛玩動物の領域をローテーションで学びます。 ○搾乳実習を通して実践的な力を身につけます。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	重み付け						
			100%	0%	100%				
学習評価	a 知識・技能 (専門教科は知識・技術)	農業に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付け、畜産の意義や役割を理解するとともに、畜産に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	前期中間	知識・技能(技術)	40%	0%	40%		
			前期中間	思考・判断・表現	30%	0%	30%		
				主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%		
						100%	0%	100%	
			b 思考・判断・表現	農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	前期末	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
					前期末	思考・判断・表現	30%	0%	30%
	主体的に学習に取り組む態度	30%				0%	30%		
				100%	0%	100%			
	c 主体的に学習に取り組む態度	農業に関する諸課題について興味・関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	後期中間	知識・技能(技術)	40%	0%	40%		
			後期中間	思考・判断・表現	30%	0%	30%		
				主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%		
						100%	0%	100%	
後期末				後期末	知識・技能(技術)	40%	0%	40%	
				後期末	思考・判断・表現	30%	0%	30%	
	主体的に学習に取り組む態度	30%			0%	30%			

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	(1)飼育に関する学習 ①大動物 ②中小動物(羊・豚・鶏) ③愛玩動物(兔、犬)	・それぞれの動物の飼育・衛生管理の方法を学ぶ。 ・それぞれの動物の健康管理について学ぶ。 ・搾乳の方法を学ぶ。 ・畜産物の活用方法について学ぶ。	○	○	○	・動物の飼育について基礎的・基本的な知識を身につけその意義や役割を理解できる。 ・動物の飼育について基礎的・基本的な技術を身に付け適切に活用できる。 ・動物の飼育管理について思考を深めることができる。 ・動物の飼育管理について興味・関心を持ち、生理・生態について理解できる。	・学習態度 ・学習記録 ・意見発表原稿 ・農業鑑定競技①
	(2)農業クラブ活動に関する学習	・意見発表会 ・事業委員会活動、農業クラブ総会 ・農業鑑定競技①	○	○	○		
前期末	(1)飼育に関する学習 前期中間に同じ	・前期中間に同じ	○	○	○	・実際の畜産現場の見学をとおして、畜産の現状や地域の課題について理解できる。 ・畜産物の利用について理解し、活用できる。 ・農業クラブの学習に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 ・農業クラブ活動を通じて、地域の課題を理解できる。	・学習態度 ・学習記録 ・全国大会準備取組
	(2)農業クラブ活動に関する学習	・農業クラブ県連盟大会家畜審査競技運営	○	○	○		
後期中間	(1)飼育に関する学習 前期中間に同じ	・前期中間に同じ	○	○	○	・農業クラブ学習において、地域の諸課題に対する自身の考えを述べるることができる。	・学習態度 ・学習記録 ・全国大会取組・反省
	(2)農業クラブ活動に関する学習	・農業クラブ全国大会家畜審査競技運営 ・収穫感謝祭 ・畜霊祭	○	○	○		
後期末	(1)飼育に関する学習 前期中間に同じ	・前期中間に同じ	○	○	○		・学習態度 ・学習記録
	(2)農業クラブ活動に関する学習	・プロジェクト発表会 ・農業クラブ総会(後期) ・農業鑑定競技②	○	○	○		